



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 サンエー化研
 コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 宣隆

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 近江 剛

TEL 03-3241-5702

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 8,606 | 12.0 | 526 | 26.7 | 509 | 12.9 | 336 | 7.8 |
| 29年3月期第1四半期 | 7,684 | 1.7 | 415 | 48.9 | 450 | 32.8 | 312 | 37.4 |

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 519百万円 (24.7%) 29年3月期第1四半期 416百万円 (△8.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 30.68 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 28.46 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 36,024 | 19,221 | 53.0 | 1,738.82 |
| 29年3月期 | 34,930 | 18,803 | 53.4 | 1,700.53 |

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 19,083百万円 29年3月期 18,662百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 7.00 | — | 9.00 | 16.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 34,200 | 7.9 | 1,180 | △15.4 | 1,180 | △19.2 | 814 | △18.0 | 74.17 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期1Q | 11,320,000 株 | 29年3月期 | 11,320,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 345,303 株 | 29年3月期 | 345,303 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期1Q | 10,974,776 株 | 29年3月期1Q | 10,974,797 株 |

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境につきましては、米国では企業収益の拡大と良好な雇用環境により回復基調を維持しており、中国においても政府のインフラ及び不動産関連投資による下支えにより景気持ち直しの動きが見られました。

世界経済が回復基調にあるなか、わが国においても大企業を中心に企業収益の拡大が見込まれており、雇用環境の改善とそれに伴う個人消費の拡大によって、緩やかな景気回復が持続しております。

そのような状況下、当社グループの業績につきましては、事業環境が比較的良好な状態にあることから全セグメントで増収となりました。とりわけ機能性材料については、幅広く受注が増加し、大幅な増収となりました。また、損益面については、前期竣工した新工場にかかる費用負担が増加しましたが、機能性材料の受注増加に伴う設備稼働率の上昇によって収益性が大きく改善し、グループ全体で増益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高86億6百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益5億26百万円（前年同期比26.7%増）、経常利益5億9百万円（前年同期比12.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億36百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりです。

軽包装材料

食品用包材の分野では、清涼飲料用パウチの受注が前期並みにとどまりましたが、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の受注が堅調で増収となりました。また、精密機器その他の分野では、前年同期に大きく落ち込んだエア緩衝材「エアロテクト」が主力ユーザーからの一時的な受注の回復を得て、増収となりました。

一方、医薬品・医療用包材については、高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」の販売が堅調ではありましたが、他の商品がユーザーの生産計画変更等の影響で受注減となり、この分野では減収となりました。また、洗剤・トイレタリー用包材の分野でも、液体洗剤等の詰め替え用パウチの受注が競争激化により減少し、減収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は36億32百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

産業資材

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、建設・物流業界が一部の地域・顧客層において活況ではありましたが全体としては停滞気味であり、既存ユーザーからの受注も低調な水準にとどまったことから、減収となりました。

剥離紙については、医療用品関連の増加や海外テープメーカーからのスポット受注により売上が増加しました。また、IT関連分野に使用される電材用工程紙についても、海外ユーザーからの受注が回復し、剥離紙全般で増収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18億42百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

機能性材料

粘着塗工タイプの表面保護フィルム「サニテクト」については、大口案件の終息によりPET基材の「NSタイプ」の受注が減少しましたが、その他の光学用途の販売が全般的に好調であったことから増収となりました。

2層押出しタイプの表面保護フィルム「PAC」については、偏光板用をはじめ光学用途が堅調で、なかでもスマートフォン関連の受注が増加し、増収となりました。

精密塗工タイプの表面保護フィルム「SAT」については、液晶テレビ向けの受注が海外を中心に増加しました。また、スマートフォン市場が回復傾向にあるなか、国内の光学関連部材メーカーからの受注も好調で、大幅な増収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は29億30百万円（前年同期比30.2%増）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

| セグメント別 | 売上高 | 構成比 | 前年同期比 |
|--------|----------|--------|---------|
| 軽包装材料 | 3,632百万円 | 42.2% | 1.7%増 |
| 産業資材 | 1,842百万円 | 21.4% | 4.4%増 |
| 機能性材料 | 2,930百万円 | 34.1% | 30.2%増 |
| その他 | 200百万円 | 2.3% | 106.1%増 |
| 合計 | 8,606百万円 | 100.0% | 12.0%増 |

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末と比べて10億93百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が5億10百万円増加したことや、受取手形及び売掛金や電子記録債権といった売上債権が5億36百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末と比べて6億74百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が8億61百万円増加したことや、未払法人税等が2億61百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて4億18百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が2億37百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が1億92百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,387,743 | 4,898,134 |
| 受取手形及び売掛金 | 10,175,858 | 10,416,611 |
| 電子記録債権 | 1,562,176 | 1,857,659 |
| 商品及び製品 | 1,206,590 | 1,306,176 |
| 仕掛品 | 1,283,631 | 1,377,497 |
| 原材料及び貯蔵品 | 688,963 | 744,776 |
| その他 | 532,317 | 218,452 |
| 貸倒引当金 | △36,421 | △38,210 |
| 流動資産合計 | 19,800,860 | 20,781,096 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,070,356 | 4,083,515 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,352,339 | 2,359,850 |
| 土地 | 1,948,200 | 1,948,200 |
| その他(純額) | 317,819 | 208,302 |
| 有形固定資産合計 | 8,688,715 | 8,599,868 |
| 無形固定資産 | 12,798 | 11,622 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,931,041 | 5,212,416 |
| 関係会社出資金 | 531,090 | 445,932 |
| 退職給付に係る資産 | 762,959 | 781,241 |
| その他 | 204,338 | 192,725 |
| 貸倒引当金 | △851 | △850 |
| 投資その他の資産合計 | 6,428,578 | 6,631,464 |
| 固定資産合計 | 15,130,091 | 15,242,955 |
| 資産合計 | 34,930,952 | 36,024,052 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,738,799 | 7,600,495 |
| 短期借入金 | 3,226,668 | 3,260,000 |
| 未払法人税等 | 332,929 | 71,681 |
| 賞与引当金 | 466,598 | 234,022 |
| その他 | 1,700,396 | 2,050,558 |
| 流動負債合計 | 12,465,392 | 13,216,757 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,909,945 | 1,762,735 |
| 役員退職慰労引当金 | 139,643 | 103,278 |
| 環境対策引当金 | 12,338 | 12,338 |
| 退職給付に係る負債 | 491,459 | 489,434 |
| 資産除去債務 | 104,686 | 104,857 |
| その他 | 1,004,273 | 1,112,695 |
| 固定負債合計 | 3,662,345 | 3,585,339 |
| 負債合計 | 16,127,738 | 16,802,096 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,176,000 | 2,176,000 |
| 資本剰余金 | 2,136,756 | 2,136,756 |
| 利益剰余金 | 12,645,057 | 12,883,029 |
| 自己株式 | △116,011 | △116,011 |
| 株主資本合計 | 16,841,803 | 17,079,775 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,885,108 | 2,077,840 |
| 為替換算調整勘定 | △13,249 | △31,562 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △50,811 | △42,982 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,821,048 | 2,003,294 |
| 非支配株主持分 | 140,362 | 138,886 |
| 純資産合計 | 18,803,213 | 19,221,956 |
| 負債純資産合計 | 34,930,952 | 36,024,052 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 7,684,352 | 8,606,919 |
| 売上原価 | 6,465,554 | 7,259,759 |
| 売上総利益 | 1,218,797 | 1,347,160 |
| 販売費及び一般管理費 | 803,123 | 820,577 |
| 営業利益 | 415,673 | 526,582 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 117 | 51 |
| 受取配当金 | 44,331 | 44,933 |
| 作業くず売却益 | 11,890 | 12,457 |
| クレーム収入 | 3,651 | 393 |
| その他 | 5,637 | 7,782 |
| 営業外収益合計 | 65,629 | 65,618 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,547 | 7,014 |
| 持分法による投資損失 | 11,744 | 71,429 |
| 為替差損 | 8,220 | 2,089 |
| その他 | 4,017 | 2,655 |
| 営業外費用合計 | 30,531 | 83,188 |
| 経常利益 | 450,772 | 509,013 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 450,772 | 509,013 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 40,289 | 64,969 |
| 法人税等調整額 | 96,670 | 106,742 |
| 法人税等合計 | 136,960 | 171,712 |
| 四半期純利益 | 313,812 | 337,300 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,452 | 556 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 312,359 | 336,743 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 313,812 | 337,300 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 128,386 | 193,099 |
| 為替換算調整勘定 | △5,471 | △4,584 |
| 退職給付に係る調整額 | 8,956 | 7,828 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △28,893 | △13,728 |
| その他の包括利益合計 | 102,978 | 182,614 |
| 四半期包括利益 | 416,790 | 519,914 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 415,564 | 518,990 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,226 | 923 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 軽包装材料 | 産業資材 | 機能性材料 | 計 | | |
| 売上高 | 3,571,805 | 1,764,745 | 2,250,346 | 7,586,897 | 97,454 | 7,684,352 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 214,633 | △1,748 | 198,307 | 411,192 | 4,481 | 415,673 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 軽包装材料 | 産業資材 | 機能性材料 | 計 | | |
| 売上高 | 3,632,878 | 1,842,687 | 2,930,503 | 8,406,069 | 200,850 | 8,606,919 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 271,434 | △180,499 | 413,440 | 504,375 | 22,207 | 526,582 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。